

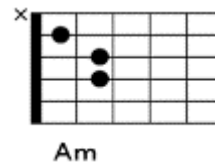
学生時代「ペギー葉山」

作詞、作曲、平岡精二

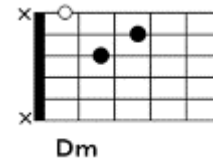
Am Dm Am A7 Dm
つたのからまるチャペルで 祈りを捧げた日
Dm Am E7
夢多かりしあのころの 思い出をたどれば
Am Dm Am A7 Dm
なつかしい友の顔が ひとりひとり浮かぶ
Dm Am E7 Am
重いカバンを抱えて通ったあの道
E7 Am Dm6 G7 C
秋の日の図書館の ノートとインクのにおい
E7 Am Dm Am E7 Am
枯葉の散る窓辺 学生時代

Am Dm Am A7 Dm
賛美歌をうたいながら 清い死を夢みた
Dm Am E7
何のよそおいもせずに 口数も少なく
Am Dm Am A7 Dm
胸の中に秘めていた 恋へのあこがれは
Dm Am E7 Am
いつもはかなくやぶれて一人書いた日記
E7 Am Dm6 G7 C
本棚に目をやれば あのころ読んだ小説
E7 Am Dm Am E7 Am
過ぎし日よわたしの 学生時代

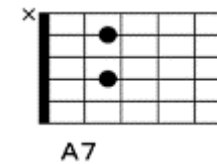
Am Dm Am A7 Dm
ローソクの灯に輝く 十字架をみつめて
Dm Am E7
白い指をくみながら うつむいていた友
Am Dm Am A7 Dm
その美しい横顔 姉のように慕い
Dm Am E7 Am
いつまでも変わらずにと 願った幸せ
E7 Am
テニスコート キャンプファイヤー
Dm6 G7 C
なつかしい日々は帰らず
E7 Am Dm Am E7 Am
すばらしいあのころ 学生時代



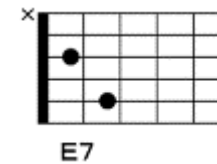
Am



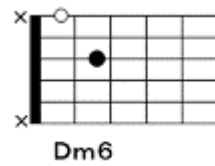
Dm



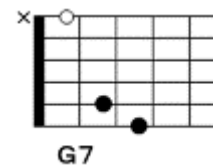
A7



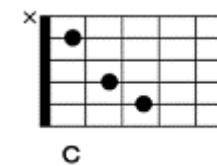
E7



Dm6



G7



C